

教材3-1(1)

解答 言葉

年

組

番

名前

一次の文の主語としてふさわしいものを①から③までの中から一つ選んで、その番号をかきましよう。

① 庭に池が ② あります。 ③

① 森さんが 今日の日直です。 ② ③

① かわいい ひなが ② ③ 生まれました。

二次の文で、の言葉をくわしく表している言葉に**を引きましよう。

くじらが ゆうゆうと 泳いでいる。

あかちゃんが にここに わらっている。

小鳥が ピーピーと 鳴いている。

森の中は しーんと しずかだった。

白い ねこが 歩いています。

かわいい 赤ちゃんが、 よちよち 歩いています。

教材3-1(2)

解答

年

言葉

組

番

名前

一次の文の「主語」「述語」を(れい)のように書き入れましよう。

主語

述語

(れい) わたしは、台所でおじいちゃんに手紙を書きました。

主語

述語

① 三年とうげとよばれるとうげがありました。

主語

述語

② 冬が、きつねの親子の住んでいる森にもやってきました。

主語

述語

③ 先生は、みんなに手話で気持ちを伝えました。

二 ***をくわしく表している言葉を の中から選んで、()

に入れますよう。

① (赤い) チューリップの花がさきました。

② (軽い) 荷物を運びました

③ だれもない (さびしい) 教室になりました。

④ 朝の林に (さわやかな) 風がふいている。

⑤ みんなで (楽しい) ゲームをする。

さびしい 赤い さわやかな

楽しい 軽い

年

組

番

名前

一 文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。
 国語じてんでは、ふつう、左例の でかこんだ形が、見出し語
 になっています。①〜③の見出し語を で囲みましょう。

④例

書かない
 書きます
 書く
 書くもの
 書けば
 書こう

①

青かるう
 青かった
 青くなる
 青い
 青い花
 青ければ

②

泳がない
 泳ぎます
 泳ぎたい
 泳げば
 泳ぐ
 泳ごう

③

しずかだるう
 しずかだった
 しずかに
 しずか
 しずかな
 しずかならば

二 次の言葉を、(れい)のような言い切りの形にしましょう。

(れい) 走った



走る

① 食べよう



食べる

② うれしかった



うれしい

③ きれいだった



きれい

三 次の言葉を国語じてんに出ているじゅんにならべましょう。

すし

すいか

すす

すず

進む

すいか



すし



すす



すず



進む

解 答

年 組

言 葉

番

名 前

名 前

「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」

〈れい〉



「動きを表す言葉」

「様子を表す言葉」

「物や事を表す言葉」

投げる

速い

野球

走る

強い

ボール

取る

楽しい

グローブ

打つ

うれしい

練習

一次の文の□には、どんな言葉が当てはまるでしょうか。下の□から選びましょう。そして、その言葉が、「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」のどれかを考え、()にアからウの記号を書きましょう。

① 問題答用紙に名前を **書く**。(ア)

② 今日は気温が **高い**。(イ)

③ 鳥が **大空** をとぶ。(ウ)

④ **美しい** 花がさく。(イ)

⑤ **野球** のしあいで負ける。(ウ)

⑥ お店で本を **買う**。(ア)

⑦ **日本地図** で地名を調べる。(ウ)

買う 大空 高い 書く 野球 日本地図 美しい

ア 「動きを表す言葉」

イ 「様子を表す言葉」

ウ 「物や事を表す言葉」

年

組

番

名前

解答

言葉

文には、決まった言い方をする言葉があります。

へれい〜 ▼おそろく、．．．．．だろう。

▼なぜ、．．．．．なのだろう（なのか）。

▼きっと、．．．．．ちがいない。

▼まるで、．．．．．ようだ（みたいだ）。

一次の文の.....線の言葉に気をつけて（ ）の中に入る

言葉を

の中からえらびましょう。

① どうして、おなかはへるの（ **だろう** ）。

② あのビルの形は、まるで半月の（ **ようだ** ）。

③ まさか、わたしが優勝するとは思っても（ **いなかった** ）。

④ たとえ、遠くはなれて（ **いても** ）、また会えるだろう。

⑤ もし、雨がふった（ **ならば** ）、遠足は中止です。

⑥ きっと、あの消しゴムは山田さんの物に（ **ちがいない** ）。

いなかった

ならば

ようだ

いても

だろう

ちがいない

教材3-1(6)

解答

年 組

言語

番

名前

ことわざ

「急がば回れ」「わらう門には福来たる」など、生きていく上で
 のちえや教えを、短い言葉や言い回しで表したものだ。
かど

故事成語

「五十歩百歩」など。ことわざに似た短い言葉。中国につた
 わる古い出来事や物語がもとになっている。

慣用句 かんようく

「ねこの手もかりたい」「道草を食う」などのように、
 二つ以上の言葉が結びついて、もとの言葉の意味とはちがう
 新しい意味を表す言い方。

一 次の言葉の意味にあうものを——でつなぎましょう。

ねこのひたい	馬が合う	さるも木から落ちる	善(ぜん)は急げ	ほねがおれる	ねこにこばん
気が合うこと。	よいことは、あれこれとなやむより、 すぐに行くほうがよい。	苦ろうする。	たいへんせまい場所のたとえ。	かちの分らない人にかちのあるも のを与えても何の役にも立たないこ とのたとえ。	名人や達人 <small>たっしん</small> と呼ばれるような者で あっても、しっばいすることがある ということ。

教材3-1(7)

解答

言葉

年

組

番

名前

一 一 一 の言葉の正しい方を ○ でかこみましょう。

① 入り口に、くつがある。 それ その くつはわたしのです。

② 遠くに見える この あの 山が大山です。

③ 暑いから どの この 水どうを持って行きなさい。

④ きのおう、あなたが持っていた あれ それ をかしてください。

⑤ 箱の中から どれ それ でもほしい物を取りなさい。

⑥ かさが見つからない。 あれ これ はどこにおいたのだろう。

⑦ 明日は畑にいきます。 あれ そこ で草かりをします。

⑧ 山の向こうに家があります。 それ これ が私の家です。

年

組

番

名前

一 ***の言葉がしめしている言葉に、***を引きましよう。

⑦例 バスが来た。それは、駅前行きだった。

① お茶しか売ってっていない。飲める物はそれだけだ。

② パンフレットがあるから、買う物は、これを見てたのもう。

③ きノウ、ペンを買った。あれはとても書きやすかった。

④ 大山へ遠足に行った。その見晴らしは、すばらしかった。

⑤ 水族館に行きました。それは駅の近くでした。

⑥ 会場に白い服を着たおじいさんがいました。それが私のおじいさんです。

⑦ 庭にチューリップの花がさきました。その花はきれいでした。